

第43回町社会福祉大会開催 地域福祉発展に貢献 27名2団体を表彰



表彰を受ける健康づくりサークルいちごに会の阿部栄子さん

第43回階上町社会福祉大会を、11月16日、ハートフルプラザで行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演等を行わず、出席者数を制限して大会式典のみの開催となりました。式典では、町長及び町社協会長より、地域福祉の発展に貢献された方や高額寄付者、高額物品寄付者に対する表彰状と感謝状がそれぞれ贈られました。

また、町議会議長 林様からのご祝辞や、受賞者を代表して、野沢敏雄様より謝辞をいただき閉会となりました。

なお、表彰を受けられた方々は以下のとおりです。おめでとうございます。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

- ・青森県社会福祉大会会長表彰 【民生委員児童委員】 沼山 一子
- ・青森県共同募金会長表彰 【行政 区 長】 松川 純悦（角柄折区長）、中島 孝一（追越区長）、日向登美男（神区長）
- ・三戸郡社会福祉大会会長表彰
 - 【民生委員児童委員】 坂下 薫 【町手をつなぐ育成会役員】 阿部津枝子
 - 【町在宅介護者の会役員】 下野 明美 【石鉢保育園職員】 郷州 明慈、野々口淳子、糸坪佐知子
 - 【町社協職員】 阿部 奨、上平千恵子

名誉大会長授与 <表彰の部>

- ・福祉団体役職員等永年勤続者
 - 【町社協理事】 中島 孝一 【町社協評議員】 松川 純悦、野沢 敏雄、日向登美男
 - 【町赤十字奉仕団役員】 堀合ひろ子 【階上保育園職員】 町 千賀子
 - 【町社協職員】 小田島久美子 【ほのぼの交流協力員】 落合 テル、熊谷 唱子、大江 正子、地代所ヒロ子、山崎 ムツ
- ・地域福祉啓発団体 健康づくりサークルいちごに会

大会長授与 <感謝の部>

- ・高額寄付者（5万円以上） 鹿原 牧子、吉井 昭八、佐京日誉志、前田 一男、土橋 剛、上野 正宣
- ・高額物品寄付者 有限会社太田技建（車椅子1台）

あたたかいご寄付 ありがとうございました

○青森県市町村職員年金者連盟
三八支部長 鈴木 孝義 様
金 5,000円



弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

- 日 時 12月28日（火）
午後1時から午後3時（1人20分以内）
- 場 所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 相談料 無料
・相談は予約制（先着6名）です。



予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067

※新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着用しご相談ください。

赤い羽根共同募金の助成を受けました！

この度、令和3年度の赤い羽根共同募金助成金の交付を受けて、地域福祉活動車両を整備することができましたので、ご報告とお礼を申し上げます。

社協では、地域福祉推進のため「ほのぼの交流会開催事業」「給食サービス事業」「福祉安心電話サービス事業」等の事業に取り組んでおりますが、今回、新たに車両を購入することができましたので、これからの事業の取り組みに活用していきたいと思っております。

募金をしてくださった多くのみなさまの、あたたかいお気持ちに感謝申し上げます。



年末年越し給食サービスをご利用しませんか

社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 令和3年12月31日（金）
- 配達時間 午後1時～3時頃
- 利 用 料 無料
- 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
 - ・令和3年12月31日までに75歳に達する方
 - ・大晦日をお一人でお過ごしになる方

※大晦日をご家族、ご親戚等と一緒に過ごされる方は対象となりません。

- 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を12月17日（金）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。

- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067

※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。

おせち料理を
お届け
いたします



編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり21.04円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード

入選おめでとうございます!第 42 回町社会福祉作文

社会福祉作文審査会が 1 0 月 2 1 日に開催され、町内小中学校から応募のあった 6 4 編の作品の中から 1 2 編の入選作品が下記のとおり決まりました。

その中から、最優秀に選ばれた道仏小学校 6 年 長根明凜さんと、道仏中学校 3 年 濱道穂乃花さんの 2 作品を紹介いたします。

なお、入選作品は文集「そよ風」第 4 2 集でご覧いただけます。入選者の皆さんおめでとうございます。

※文集「そよ風」はハートフルプラザ・はしかみで閲覧ができます。

賞	学 校 名	学 年	氏 名	題
最優秀	道 仏 小 学 校	6	長 根 明 凜	笑顔と生きがい
〃	道 仏 中 学 校	3	濱 道 穂 乃 花	祖母がくれたメッセージ
優 秀	赤保内小学校	6	小 坂 音 夢	父や妹のように
〃	赤保内小学校	6	山 田 来 希	デイサービスの大切さ
佳 作	赤保内小学校	3	川 上 煌 太	おじいちゃんとおばあちゃんと
〃	石 鉢 小 学 校	6	杉 本 拓 海	もう少しで百才
〃	階 上 小 学 校	6	細 越 光 希	豊かな心で豊かな町へ
〃	赤保内小学校	6	鈴 木 みはる	環境をより良くしていくために
〃	道 仏 小 学 校	6	佐 京 あかり	わたしのおじいちゃん
〃	道 仏 小 学 校	6	太 田 珠 愛	つなげていくやさしい未来
〃	道 仏 小 学 校	6	薦 木 隼之介	支える番
〃	道 仏 中 学 校	2	畑 中 遥 菜	ひまわり



【最優秀】
「笑顔と生きがい」
道仏小六年 長根 明凜

「何年生になったの。」
「六年生だよ。」
「同級生は何人なの。」
「十三人だよ。」
そんな会話が何度もくり返されます。そう、私のひいおばあさんは認知症です。九十七歳となると、覚えようとしても覚えられなくなってきました。私はひいおばあさんだからしょうがないと思います。私の名前や家族の名前がいまいで名前が分からない時もあります。

「何年生になったの。」
「大学生だよ。」
とふざけて答えると、
「そんなわけないべ。」
と笑顔で答えました。ひいおばあさんは私を大学生ではないと判断したようです。予想していなかったひいおばあさんからの質問に思わず私も笑ってしまいました。質問されたことに冗談で答えたり、逆にひいおばあさんに質問をしたりすることでひいおばあさんとのコミュニケーションが以前より楽しく感じられました。

「おばあさんの同級生は何人だったの。」
と聞いた時は、
「男は十七人、女は十九人だったよ。あのころは人がたくさんいたなあ。けんかもたくさんしたよ。」
楽しそうな表情で話します。ひいおばあさんは小学生のころのことをしっかりと覚えていました。とても良い思い出だったのしょう。私はひいおばあさんの話を聞いているうちに心が温かくなりました。そんなひいおばあさんの一日は仕事ばかりです。毎日、晴れている時は朝から夕方まで草とりをし、家の掃除までしています。雨の日も座って黙々とチラシで箱を作り、私の成人式用の着物も作ってく

あります。それをひいおばあさんはおこっています。顔は笑っていました。そのやり取りがひいおばあさんにとっても大切で生きがいのだと思っています。

ひいおばあさんは最近老人ホームに通い始めました。でもその生活にはまだ慣れていません。火曜日の朝、老人ホーム行きのバスが来ます。するとひいおばあさんは、
「行かなくていいよ。」
とか、
「やりたいことがあるから。」
と理由をつけてさけてしま

います。ですが、帰ってくると「今日は流しそうめんをしたよ。楽しかったよ。」
と、行くのをいやがっていた朝の出来事がうそのように老人ホームを楽しんでいました。役割や生きる意味があるとい

うことは、ひいおばあさんにとっても大切なことだと思

います。いろんなことをすぐ忘れることは本人も困ると思います。これからひいおばあさんとたくさん話を



【最優秀】
「祖母がくれたメッセージ」
道仏中三年 濱道 穂乃花

「穂乃花、ありがとう。」
私の祖母は、些細なことも笑顔で「ありがとう」と言う。物を拾ったり手伝いをしたり、当たり前のことをしているだけなのに言ってくる。毎日聞かされた言葉だが、心の奥が温かくなる祖母の声。「ありがとう」という祖母の言葉は、不思議と私に元気を与えてくれる。

祖母は足が悪く、普段からつえを使って歩行している。歩くスピードもゆっくりで、足をあげるのも大変そう

だ。ある時、祖母が家の中の段差につまずいてけがをしてしまった。痛みでつらそうにしているのを見たら、かわいそうで仕方がなかった。

した。早く治ってほしいと願いながら湿布を貼ってあげた。買い物に行くときには必ず付き添って、荷物を持ってあげた。その度に祖母は笑顔で「ありがとう」と返してくる。

「おばあちゃん、いつも家族のためにたくさん働いてくれてありがとう。」
自然と感謝の言葉を伝え

た。国語の授業でSDGsについて調べたときのことだ。SDGsとは、「サステイナブル・ディベロップメント・

ゴールズ」の略称である。貧困や紛争、気候変動による自然災害、感染症といった人類が直面している課題を整理し、二〇三〇年までに世界が達成すべき目標を立てた道し

るべだそう

で様々な制限があるが、その中でできることをみんなが考え、支え合い協力して取り組んでいる。行事が縮小化されても、一生懸命活動する姿に感動したり、心を動かされたりする。様々なことを乗り越えて経験できることが成長につながっていく。当たり前のことができない今だからこそ、多くの支えがあることに感謝の気持ちでいっぱいになった。

私は、将来、介護士や看護師の仕事に就きたいと考えている。祖母と過ごす中で、誰かに勇気を与えられる存在になりたいと思えるようになったからだ。もちろん、目指すのは祖母のように、誰にでも「ありがとう」と笑顔で伝えられる人だ。そのために、思いやりの心、相手の立場にな

って考える気遣いや優しさ、声かけを大切にしていきたい。祖母から学んだメッセージを心に刻みながら…。

